



世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪
ニュースレターVol. 36 (2020年3月発行)
イースター (復活祭) のご挨拶

「復活のイエスは、再臨の主」

イエスは彼らに言われた。「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、大きな地震があり、方々に飢饉や疫病が起り、恐ろしい光景や天からの大きなしるしが現れます。」(ルカ 21:10~11)「疫病はその前を行き、熱病がうしろに従う。」(ハバクク 3:5) 人々の心に疫病に対する「恐れ」のパンデミックが蔓延し「終末」に向かう時計の針が刻々と進んでいることを思われるこの頃です。このような時に神が常に問われてきたのは「神の民」ならびに指導する立場にいる者たちの悔い改めでした。おごりと高慢とを裁かれる公正と義の神の姿を見せられる思いです。疫病は「異邦人の時が満ちる」兆候のひとつとしてイエスが教えられたものです。復活された主イエスが再臨なさるといふ希望を与えられている私たちは、この備えられた時に祈り深く主の声を聴き、同胞の隣人に対して自分に託された「愛の種」を蒔く機会として過ごそうではありませんか。「見よ、今は恵みの時、今は救いの日です。」(Ⅱコリント 6:2)



(代表・神田英輔)

『キリスト教とローマ帝国』(スターク著)によると、古代ローマでは疫病流行の際に医者ですら自分の町から逃げたが、復活を信じた初代のキリスト者たちが死をも恐れず献身的に患者を看病したことが、初代教会の成長の主要な理由だったと指摘されている。現代の公衆衛生を学んだ私たちはその行動をそのまま真似ることは出来ないが、「復活を信じる信仰」と「憐れみの態度」については学ぶ必要がある。

人生100年時代への備えとしての「よにでしセミナー」とYouTube動画

リンダ・グラットンが著書『LIFE SHIFT』のなかで、2007年に先進国で生まれた子どもの50%は107歳まで生きるといふ未来予測を紹介し、これからの時代の働き方は20世紀の教育・仕事・引退という「3ステージ」から、複数の仕事のポートフォリオ(組み合わせ)を渡り歩きつつ、人生の途中で大学に入り学び直すことも当たり前になる「マルチステージ」へと変化するだろう、と書いています。またオックスフォード大学のマイケル・A・オズボーン教授らの研究によれば「汎用AI」等の登場により今後10~20年以内に、日本の労働者の49%までが新しい技術により代替可能となり「不要」になるだろうと予測されています。

このような時代に必要なのは、「正しい答え」を知っていることではなく、「正しい問い」を問うことのできる能力です。「批判的思考力・複眼的視角・メタ視点」を鍛える「よにでしセミナー」は、労働環境が激しく変化すると予測される近未来にも、社会に必要とされ、その変革者となっていくキリストの弟子を養成することを目指して好評をいただき、今年で4年目を迎えます（11月13～14に開催予定の少人数制ですので、お問い合わせはお早めに）。

また、社会人になったとしてもそれで安泰ではなく、生涯学び続けることはこの時代を生き抜くのに必須になります。そのような生涯学習を支えるだけでなく、聖書的な世界観からこの世界を見る目を養うことができるよう、FVI メディアルーム Voice of Voiceless での動画配信、および通勤中にも聞ける Podcast 配信も行っています。困難な時代にこの社会で聖書的世界観をもって生きていくことがどのようなことかを、皆様と共に学び続けられるようなコンテンツを作り続けています。



【写真】2018年・札幌での「よにでしセミナー」の様子



FVI と学びを共にして
いきたい方は是非、
お手持ちの端末の
YouTube で「陣内俊」
または Podcast で
「陣内義塾」と検索
ください。

(執筆者・陣内)

その他の活動（2019年12月～2020年2月）

万座温泉ホテル、万座教会、FVI 役員会（以上、嬭恋村）、小さないのちを守る会・クリスマス、東京武蔵野福音自由教会、めぐみ教会、奥沢ファイブ集会（以上東京）、練馬グレースチャペル、清瀬福音自由教会、いのちの樹教会、草加福音自由教会、戸田福音自由教会（以上埼玉）、御影福音教会（兵庫県）、ICBC（愛知県）基督聖協団などでFVI カタリストがセミナー、講演、報告等の奉仕させていただきました。共に労して下さった皆様に心より感謝いたします。

働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「FVI」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱 UFJ 銀行の口座もご利用いただけますので、ご希望される方はお問い合わせください。（旧・三菱東京 UFJ 銀行の名称が変更されました。ご注意ください。）

* このニュースレターは、<http://www.karashi.net/>に掲載されています。希望された方には email による配信または印刷物として郵送させていただきます。送付先、送付方法の変更、部数の追加、差し止めなど、以下の連絡先までお知らせください。

* 種資金による国際協力、カタリスト支援など、献金をお送りくださる場合は、同封の郵便振替用紙の通信欄に、献金先の国・地域名またはカタリスト名をご明記ください。

● 「声なき者の友」の輪 事務局 email: info@karashi.net 090-3036-2776（神田）